

自然の家だより

令和 7 年
4 月 2 0 日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野 2 0 8 1 番地
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 Email:gishizen@he.mirai.ne.jp URL: https://gikyobun.or.jp/gishizen/

ツツジが見頃を迎えています！

岐阜ファミリーパーク内では、4月から5月にかけて3種類のツツジが見頃を迎えます。コバノミツバツツジにヤマツツジ、モチツツジと、3種類それぞれに特徴があります。

今回の自然の家だよりでは、その中でもちょっと変わった触感の「モチツツジ」を紹介します。

ファミリーパークで見られる、3種類のツツジ



コバノミツバツツジ

◆ 花・葉

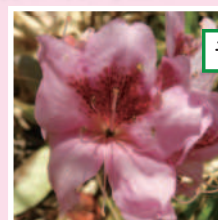
- ・薄紫色の花
- ・葉は3枚



ヤマツツジ

◆ 花・つぼみ

- ・朱色の花で葉は小さい
- ・花びらと同じ色のつぼみ



モチツツジ

◆ 花・つぼみ

- ・紫色の花に赤い斑点
- ・新芽を触るとモチモチ

モチツツジってどんな植物？

漢字で「鵜躑躅」と書きます。「鵜」とは、粘り気があり、鳥や虫などを捕まえる時に使われていた「鳥もち」のことをさし、モチツツジのつぼみや新芽などの手触りが鳥もちに似ていることから名付けられました。

実際には鳥もちほどのベタつきはありませんが、触るとモチモチとしていて、少し粘り気を感じます。この理由は、腺毛と呼ばれる小さな毛がたくさん生えており、そこから粘り気のある液を出しているからです。外から来た虫はこの粘り気で動けなくなり、モチツツジは新芽やつぼみが食べられるのを防いでいます。



腺毛（小さな毛）のある葉は

モチツツジでキャッチ！

新芽を使って、虫がくっつくか実験してみました。

すると、左の写真のように、アリをたくさんキャッチすることができました。モチツツジに捕まったアリで、逃げ出せたアリは1匹もいませんでした。小さな虫にとっては、モチツツジの粘り気は強力なようです。



（実験後に逃げたアリ）



虫から逃げることができない植物は、食べられないように色々工夫しているね。
身の周りの植物には、どんな工夫が見られるか探してみよう。見つけたら、自然の家に教えてね。